

# 緑の風 移住ニュース

2009年4月号(VOL.1)

## ようこそ 屋久島へ!



## 移住体験ツアー フリープラン受付中!

特定非営利活動法人屋久島移住ネットワーク・緑の風

〒891-4403 鹿児島県熊毛郡屋久町原914番地

電話 0997-47-3335 FAX 0997-47-2739

Mail midorinokaze@iju.jp URL <http://midorinokaze.iju.jp/>

NPO緑の風は、移住支援活動を通じて地域づくりに貢献したいと思っております。



# 屋久島へようこそ！

## ごあいさつ

団塊世代の地方回帰や若者世代の田舎暮らしがブームになっています。我が屋久島町においても、世界自然遺産の登録地として屋久島らしい移住者受け入れについて考えるときが訪れているような気がいたします。少子高齢化社会に向かういま、島全体で連携して移住者を受け入れ、地域づくりを行なっていく必要があるのではないでしょうか。各地区の特色を生かした村おこしや、西部地区の過疎化・限界集落化などへの対策を、地元と移住者が協力して実現できればと願っております。

私どもは、太古からの自然と多様な生命と人が共生する屋久島を守り、多様な文化を育み、持続可能な地域経済の発展をめざし、未来の子供たちに受け継ぐ島の地域づくりに今後も励んでまいり所存です。皆様のご支援・ご協力を切にお願い申し上げます。

特定非営利活動法人屋久島移住ネットワーク・緑の風 理事長 富永英男

## 屋久島の概要と、移住の現状

### ○屋久島の自然

屋久島は日本で6番目に大きな島。九州の最高峰宮之浦岳（1936m）があり、亜熱帯の海岸から亜寒帯の山岳までの植生分布と樹齢千年を超える屋久杉を育む多様な自然が1993年世界遺産に登録された。ウミガメの産卵地永田浜はラムサール条約に登録。白谷雲水峡は映画「もののけ姫」のモデルとなった。

### ○屋久島の歴史・文化・産業

屋久島は7世紀に日本の歴史に登場。江戸時代に屋久杉の伐採開始。シカ2万、サル2万、ヒト2万と言われる。トビウオやサバなど海産物、ポンカン・タンカンなど南国の果実、豊かな水で作る芋焼酎などの特産品に恵まれる。観光客の増加から自然破壊が心配されるが、島の恵みに感謝して行なう「岳参り」や郷土芸能などの伝統文化を守りながら、経済活性化とのバランスをとろうとしている。

### ○屋久島の集落

屋久島町には、屋久島の海岸線に沿って24の集落、口永良部島に2つ、合計26の集落がある。選挙で選ばれた区長が、地域を取りまとめ、各種行事の旗を振り、移住者の面倒も見てくれている。

### ○屋久島の生活

南の島でのんびり半自給自足的生活が可能。生活全般に不自由は無いが、空・海の欠航で物資の不足など離島の厳しい現実もある。

### ○住まい探し

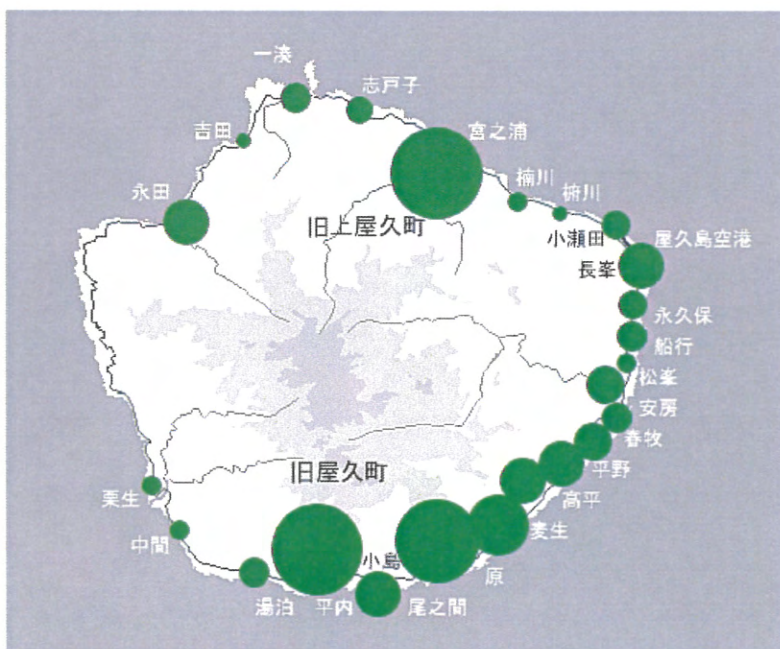
空き家・アパートなど賃貸物件が意外と少ない。詳しくは各不動産会社へ。

### ○仕事探し

近年、観光関係の職種が増加傾向にある。調理・美容・看護・介護・マッサージなどの資格やITなどの専門知識があれば有利。

### ○屋久島で子育て

島の学校は熱心でのんびり。都会と違う。また、他の地域の子どもたちを受け入れる屋久島町の留学制度は全国的に有名。



移住世帯数の集落別比較(2008年10月調査データによる)



# NPO緑の風とは

世界遺産屋久島の環境保全と地域経済発展の両立を、地元と移住者が協力してめざそうと、2007年10月18日「特定非営利活動法人屋久島移住ネットワーク・緑の風」は設立されました。屋久島に移住して情報・サービス事業や環境・教育・地域づくりのボランティア・社会起業などを始めたい方々と、地域、企業、研究機関、行政等を結び、活動のきっかけ作りやネットワーク作りなどの支援活動を行なっていきたくと思います。

## 活動内容

### ○移住相談、ワークショップ

屋久島への移住やロングステイ、2地域居住等のご相談を、NPO事務所や、お電話、メールにて承っております。また、月例の交流ワークショップをかごしま遊楽館（東京有楽町）にて開催しております。

### ○移住セミナー、シンポジウム

2007年度、鹿児島県の助成を受け、東京で3回の移住セミナーを開催し、屋久島移住の案内と情報提供を行いました。2008年度、同じく、エコエリア・エコライフによる移住の受け皿づくりをテーマに、屋久島と東京で移住シンポジウムを開催しました。

### ○移住・交流体験ツアー

2007年度、移住セミナーの参加者を中心に移住体験ツアーを実施。参加者の多くがその後の移住を実現。2008年度、「西部林道ごみゼロウォーク」など環境学習、農業体験、自給自足体験、郷土料理体験、町営団地や島内不動産各社の物件見学など盛りだくさんの内容で、滞在交流体験ツアーを実施。

### ○「まんてん・平家の里」体験ツアー

NHK連続テレビ小説の舞台、吉田集落に民泊し、海・山の恵みと共にある島の豊かな生活を知るかけがえのない時間を持っていただきます。吉田区と協力して、年間数回の開催を計画中です。

### ○おためし暮らし体験ツアー（通年フリープラン）

一年中いつでも、何人でも、何日でもOK。屋久島に短期滞在して田舎暮らしを満喫。希望地・集落での地域づくりへの参加や、移住相談も行ないます。お気軽にご相談ください。

### ○移住アンケート、地域コンサルジュ

移住者の増加で人口が回復した屋久島の移住の現状を知り、今後の方向性を探るため、2008年度、地元の方々や各区長のご協力をいただき、アンケート調査を行ないました。

コンサルジュは、よろず相談係や世話焼きという意味です。移住希望者の窓口や相談相手として地域の受け皿となるコンサルジュの人材育成を、地元の方々と相談しながら進めていきます。

## 一緒に島おこししませんか？

### ○緑の風に入会しませんか？

NPO緑の風は、地元と移住者が協力して島おこしをする基盤づくりを進め、地域社会への貢献を行いたいと考えております。活動継続のため、会員となって本会を支えてくださいますようお願いいたします。

### ○屋久島でボランティア活動をしませんか？

世界自然遺産の島で、環境保全のボランティア活動をしませんか？ 海岸清掃を随時受け付けています。また、過疎地集落の村おこしや古い町並み保存などのボランティア活動を一緒にやっていただける方を募集しています。

### ○屋久島でインターンシップ

屋久島の環境保全や島おこしとともに学べるインターンシップ制度の導入を計画中です。



## ○屋久島の余暇

田舎の良さはおいしい水ときれいな空気。でも屋久島はそれ以外にも雄大な自然の中で山遊び、海遊びのアウトドアスポーツやエコツーリズムが盛ん。温泉も豊富。

## ○移住プラン作成

移住のためのプラン作りを、ご希望に応じてお手伝いします。豊かな自然の中で子育てや起業を望む方、島おこしと一緒にやっていただけの方歓迎。島暮らしや2地域居住をお考えの方に、お試し暮らしツアーをご用意。

## ○移住アンケート結果

十数年前からの移住者増加で、屋久島は当時、人口の増えた唯一の離島だった。町の人口1万4千人弱、世帯数約6千6百の現在、移住者が約1割を占める。



## 屋久島トピックス

## ○皆既日食2009

今年、世紀の天体ショーを屋久島で見ることができる。皆既日食は、7月22日午前10時57分頃、トカラ列島、屋久島、種子島南部、奄美大島北部などで観測できる。地球の自転につれ、小笠原諸島から中国の揚子江流域へと観測可能地点は移動するが、観測時間は、最長の悪石島を含むトカラ列島が6分台、屋久島南部が4分台と、地域によって異なる。部分日食は日本全国で見ることが可能。

屋久島・口永良部島を伝える、住民生活を守る、自然環境を守る、住民・来島者の安全を守る、受益者負担の五つを、屋久島町は受入基本方針とし、受入可能人数を4500人とした。期間中の前後各3日間に入島制限を行う町の対策協議会では、観光客受け入れを抽選で行なうとしている。

## 島の便利帖

(電話番号一覧)

屋久島町役場 (移住相談窓口あり)	0997-43-5900
鹿児島県屋久島事務所	0997-46-2211
屋久島環境文化財団	0997-42-2911
屋久島観光協会	0997-49-4010
屋久島町商工会	0997-42-0159
種子屋久農業協同組合	0997-47-2211
屋久島漁業協同組合	0997-46-3116
屋久島森林組合	0997-49-1010
鹿児島県建設業協会 屋久島支部	0997-46-2559
屋久島警察署	0997-46-2110

ハローワーク熊毛 0997-22-1318

法務局屋久島出張所 0997-42-0061

環境省屋久島  
自然保護官事務所 0997-46-2992

屋久島森林管理署 0997-46-2111

## 島の不動産情報

屋久島不動産 0997-46-3914

屋久島企画社 0997-46-3210

屋久島パイン(株) 0997-47-2331

不動産開発屋久島 0997-42-2887

大地ホーム 0997-47-3071

屋久島グリーンエステート 0997-42-0150